

サッカー「チェント・クオーレ・ハリマ」 加古川南高と連携協定



包括連携協定を結んだチェント・クオーレ・ハリマの選手や加古川南高校のサッカー部員ら＝加古川南高校

地域活性化へ取り組み

サッカー関西1部リーグで、播磨地域を拠点とする「チェント・クオーレ・ハリマ」と、加古川南高校（加古川市加古川町友沢）が包括連携協定を結んだ。同チ

創立40周年をきっかけに、学校を挙げて地域貢献を目指す同校と、地域に根ざした活動を指針に掲げるチェントの目標が合致し、協定の締結が実現した。

8月24日に同校であった締結式には、チェントから滝野将成ゼネラルマネジャー（GM）や佐野裕哉監督（40）ら5人が出席。同校からは前田達也校長をはじめ、サッカー部主将の中嶋翔吾さん（17）ら6人が参加した。調印や記念撮影の後、場所を校長室に移して今後の具体的な活動の展望を話し合った。

滝野GMは「未来ある高校生の皆さんと、地域の活性化に向けた取り組みができるのはうれしい」。中嶋主将は「サッカー部員の技術やモチベーションを高め

るために、多くのことを吸収したい」と話した。

（千葉翔大）